

★通常事業評価シート【R7年度実施事業／消防本部消防署による自己評価】

(単位：千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰・何をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	救急・救命事業	医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている	救命率の向上を図るため、高度な知識と技術を用い救急医療現場に対し適正に対処し、救急搬送業務を行う。	救急講習の実施 地域メディカルコントロール内の研修会に参加 署内主催の救急研修の実施 AED利活用プロジェクト開始	3：おおむね近づいた	継続	-	440,213	440,213	引き続き市民の生命・身体・財産を守るため、救急・救命活動を適切に継続していく。	救急隊員のスキルアップを図る。	
2	自主防災組織支援事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	地域住民が協力して防災活動ができるようにするため、自主防災組織の育成及び支援を行う。	各地区、町会への防災訓練に参加し、市民の方々に対し、防災指導を27件実施。	2：一定近づいた	継続	-	4,590	4,590	引き続き自助・共助・公助の連携の輪を広げるため、適切な防火指導を継続していく。	指導する職員のスキルアップを図る。	
3	救助事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	災害時に市民の人命を守るため、迅速で的確な救助活動を行う。	他機関、他市消防本部、当市単独での訓練実施及び研修への参加 当市訓練実施回数736回 他市合同訓練11回、研修派遣6回	3：おおむね近づいた	継続	-	112,574	112,574	引き続き市民の生命・身体・財産を守るため、救助活動を適切に継続していく。	救助隊員のスキルアップを図る。	
4	消防水利管理事業 (他課への一部予算再配当事業)	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	消防水利としての施設機能を保持するため、消火栓等を適切に管理する。	防火水槽の簡易耐震化工事を4基実施。 更新計画に基づき老朽化の激しい消火栓の改修工事を実施。	3：おおむね近づいた	継続	37,654	24,005	61,659	引き続き計画的な改修工事を継続していく。	防火水槽や消火栓等の点検の実施。	
5	消防事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	火災から市民の生命や財産を守るため、消防活動を行う。	他機関との合同訓練など、さまざまな災害を想定した訓練を計画・立案し、年間合計1351回(他機関・合同訓練4回含む)の訓練を実施。	3：おおむね近づいた	継続	-	530,743	530,743	引き続き市民の生命・身体・財産を守るため、消防活動を適切に継続していく。	消防隊員のスキルアップを図る。	
6	火災予防事業	災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている	火災を予防するため、市民の防災意識や危機管理意識を高める。	市内事業所へ消防法第4条に基づく立入検査を893件実施し、火災予防指導を行った。 火災調査研修により職員の調査能力を育成し、火災原因調査39件実施。	3：おおむね近づいた	継続	-	43,439	43,439	引き続き市民の生命・身体・財産を守るため、予防活動を適切に継続していく。	消防署員のスキルアップを図る。	
7	消防・救急関係証明事業	医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている	市民の利便性を向上させるため、消防及び救急に関する証明書の交付を行う。	り災証明書28件交付 その他証明書0件	5：達成した	継続	-	2,258	2,258	引き続き願い出のある市民に対して交付を継続する。	速やかな発給を行う。	